SAKU-SAKU Testing

SAKU-SAKU Testing AIMONITOR マニュアル (eKYC 機能あり)

管理者版

株式会社イー・コミュニケーションズ

目次

第 *1* 章　*AIMONITOR* について *1*

第 *2* 章　受講実施までに管理者で準備・設定すること *1*

2.1.　本名登録 1

2.1.1.　ユーザー情報の「本名」登録をする 1

2.1.2.　受講者側で本人認証が正常処理されなかった場合 5

2.2.　AIMONITOR・本人画像登録に関する利用規約 12

2.3.　コンテンツに AIMONITOR 設定をする 14

第 *3* 章　受講結果確認及びデータ抽出について *18*

3.1.　受講時のなりすまし及び不正の判定について 18

3.2.　なりすまし及び不正判定結果のデータダウンロードについて 21

3.2.1.　配信実施状況のダウンロード方法 21

3.2.2.　配信設定したコンテンツの実施状況ダウンロード方法 24

※お客様のご契約内容により、ご利用いただける機能や表示される画面は異なります。
　詳細やご利用方法につきましては、弊社担当営業までお問い合わせください。

第1章　AIMONITOR について

コンテンツ受講及びメディア(スライド・動画)視聴時に、ユーザーのなりすましや挙動を検知する機能になります。受講時に挙動を検知した場合、ユーザーへメッセージでお知らせする機能や、離席・再開時には、本人であることが確認できない場合は再開できない機能などを、【コンテンツごとに】設定をすることができます。ここでは、eKYC 機能 ON (管理者にて事前の設定あり / 受講者で公的書類での本人確認あり)の場合に関して案内します。

第2章　受講実施までに管理者で準備・設定すること

管理者様にて、受講実施前に事前にご対応いただくことがあります。
ここでは、受講実施までに管理者にて設定できることを案内いたします。

2.1. 本名登録

2.1.1. ユーザー情報の「本名」登録をする

ユーザー側で本人登録時に、公的書類の登録作業があります。公的書類は、本人画像(写真)登録の目的の他に【公的書類に印字されている氏名】と【システムに登録した「本名」の文字】の一致を確認するために用いられます。そのため、ユーザーが受講実施前に必ず管理者側で、ユーザーの「本名」の登録が必要になります。ここでは、新規登録の手順で案内をします。

管理者にて事前に登録しないと、ユーザーは本人登録作業ができず、監視付きコンテンツの受講ができなくなってしまうのでご注意ください。

1 ：画面左メニュー「ユーザー管理」>「ユーザー」を選択します。



2 ：ユーザー一覧画面右の「その他の操作」>「エクセル一括登録」をクリックします。



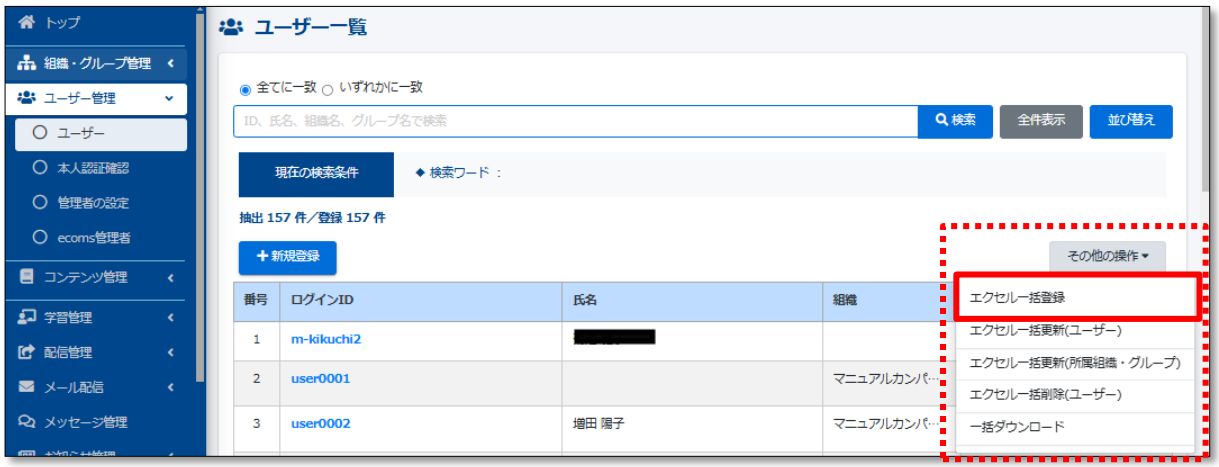
3：ユーザーの一括登録画面で「フォーマットダウンロード」をクリックします。
ご自身の PC にファイルがダウンロードされます。ファイル名：format_user.xlsx



4：3 のファイルを開き、必要項目及び【本名(D 列、E 列)】欄を入力します。
本名欄を入力しないと、受講者側で本人登録ができませんのでご注意ください。
参考：公的書類が「藤」で、本名欄「藤」入力した場合、システム本人登録承認されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	※ログインID	パスワード（半角英数記号から2種類以上）空欄でランダム生成	ユーザーコード	本名･姓	本名･名	表示名･姓	表示名･名	表示名カナ･姓	表示名カナ
2	user0001	pass1234		山田	華子	相川	華子		
3	user0002	pass1234		山川	陽子	増田	陽子		
4	user0003	pass1234				星野	百合子		

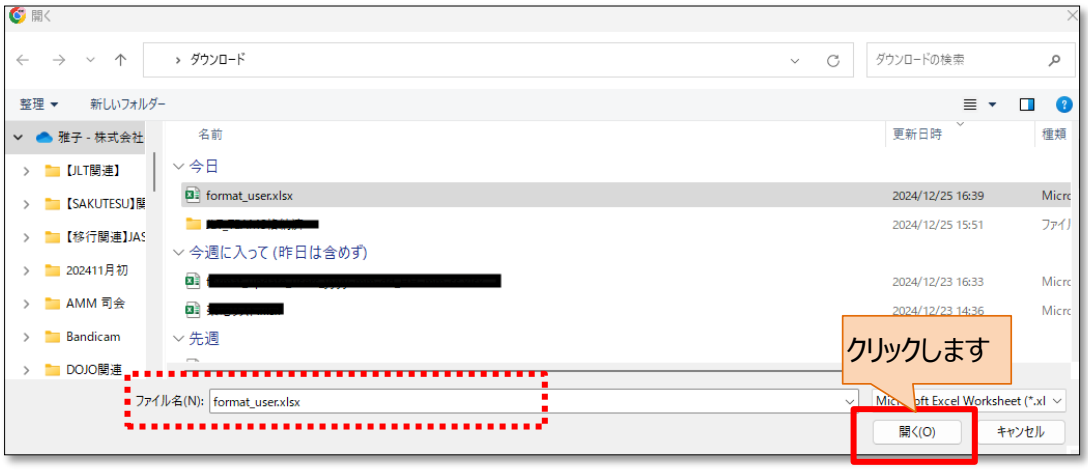
5：管理者サイト左メニュー「ユーザー管理」>「ユーザー」を選択、ユーザー一覧画面右の「その他の操作」>「エクセル一括登録」をクリックします。



6 ：ユーザーの一括登録画面で「エクセルファイルの選択」をクリックします。



7 ：ポップアップ画面で新規登録用フォーマットを選択し「開く」をクリックします。



8 ：画面下部の「アップロードしてチェック」をクリックします。



9：ユーザーの一括登録内容確認画面で内容を確認し、問題なければ「保存」をクリックします。



10：「正常に登録されました」、メッセージが表示されれば完了です。



2.1.2. 受講者側で本人認証が正常処理されなかった場合

ユーザーの本人認証が正常に処理されなかった場合、**管理者側で登録内容が OK か否か(再設定)を判定する必要があります。**また、管理者の本人確認待ちのユーザーがいた場合は、権限付与の設定によって管理者宛に通知メールを送付することもできます。
事前に、管理者に判定するための権限付与する必要があります。(admin 権限のみ付与可能)

※注意事項※

・管理者にて判定しないと、ユーザーは管理者判定待ちのままで再登録はできず、監視付きコンテンツを受講できなくなりますので、ご注意ください。

・管理者にて判定する場合は、【本人登録時の本人写真】と【公的書類の画像】が閲覧可能なため、権限付与には十分にご注意ください。

▼受講者サイトで管理者の判定待ちステータスの見え方：チェック中
ユーザー(受講者)にて本人確認が正常に処理されなかった場合、TOP 画面右上の「ユーザー名」>「個人情報設定」をクリックすると①表示され、管理者が「本人確認内容 OK」と判定すると、②の表記になり監視付きコンテンツの受講ができるようになります。

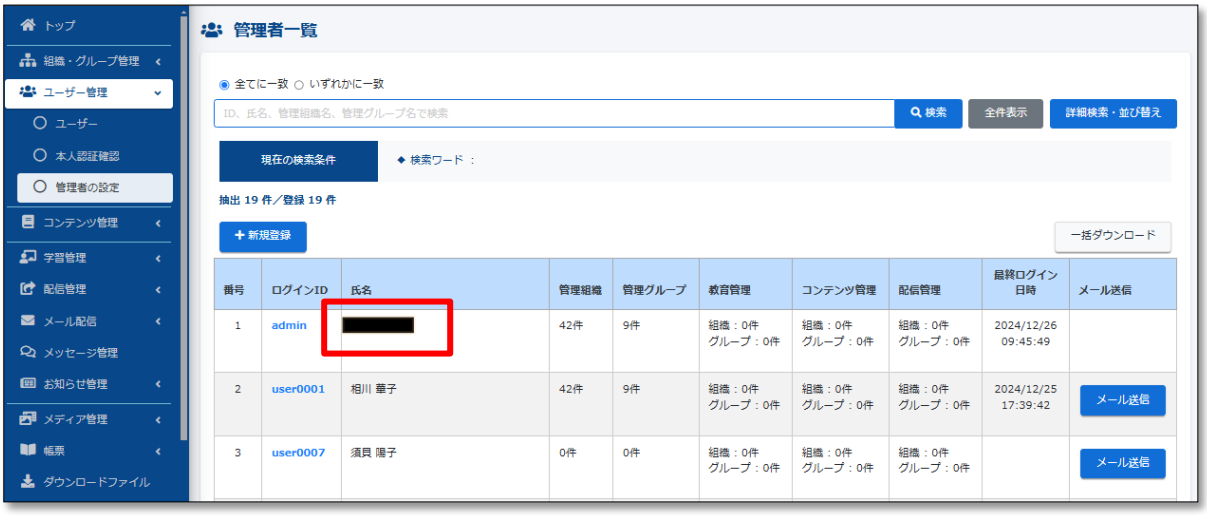




管理者権限設定方法について

本人認証が正常に処理されなかったユーザーの内容を確認し判定するための権限設定方法になります。
権限を付与すると、本人認証登録時の公的書類の画像まで閲覧できてしまうのでご注意ください。
権限の有無につきましては、【admin 権限者】へご確認ください。

1：左メニュー「ユーザー管理」>「管理者の設定」を選択、管理者一覧画面で該当の「ログイン ID」をクリックします。
※admin で管理する場合は、admin に判定権限を付与する必要があります。
※admin+他管理者アカウントへの権限付与は、admin 権限者がします。



2：管理者詳細画面で、項目「本人認証の目視チェック権限」をクリックします。

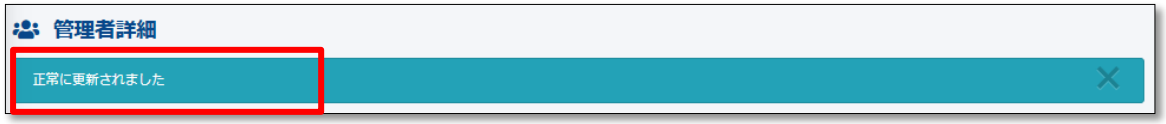


3：管理者編集画面で、必要に応じて設定項目にチェックし「保存」をクリックします。

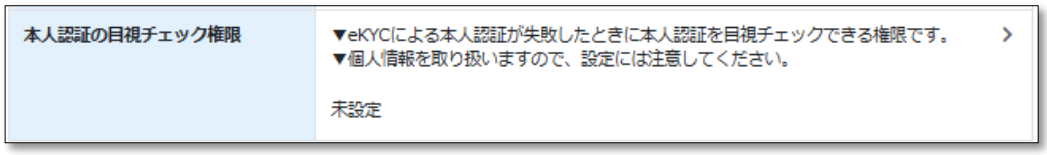


■項目	■説明
本人認証の目視チェック権限	チェックすると、本人登録できなかった原因と登録内容 OK もしくは NG かを、判断できる権限が付与されます。
目視チェックが必要なユーザーがいる場合にお知らせメールを受け取る	「本人認証の目視チェック権限」にチェックされていることが前提です。チェックすると本人登録が正常処理できなかったユーザーがいることをメールでお知らせしてくれます。 ※受信時間は AM0:30 です(時間変更不可)。 ※未対応の場合は、毎日 AM0:30 にメールが届きます。

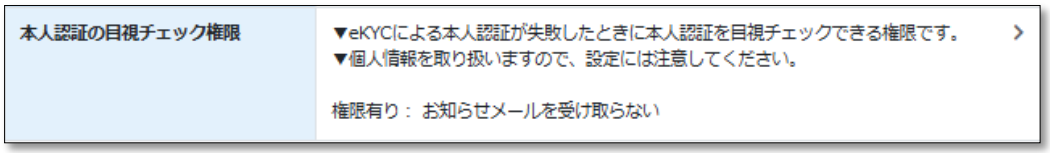
4：「正常に更新されました」メッセージが表示されれば設定完了です。
未設定・設定完了時の表示は以下の表示になります。
※管理者詳細画面での設定に関する表示のされ方は、以下のとおりです。



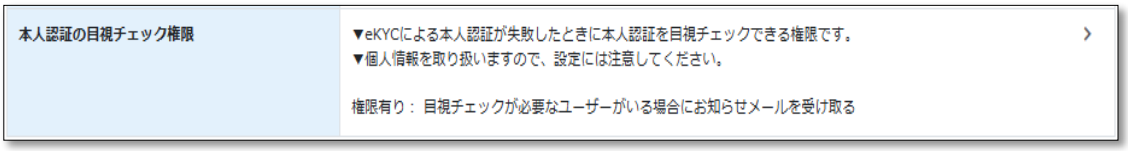
▼権限：未設定の場合



▼権限：「本人認証の目視チェック権限」のみの設定の場合



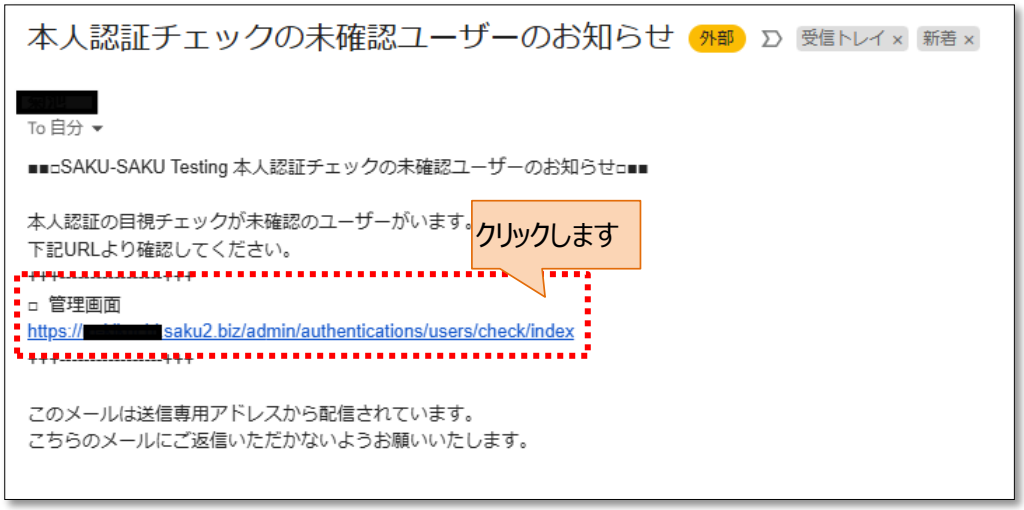
▼権限：「本人認証の目視チェック権限」と「目視チェックが必要なユーザーがいる場合
お知らせメールを受け取る」を設定した場合



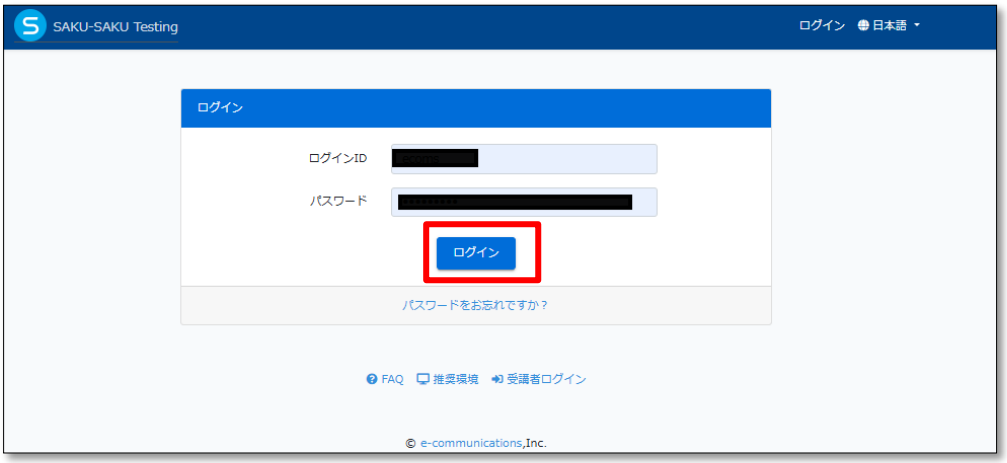
本人認証の判定方法

本人認証の判定権限がある管理者に限る手順になります。
判定 OK の場合は、ユーザーはそのまま監視付きコンテンツを受講することができます
判定 NG の場合は、ユーザー側で再度本人認証の処理が必要になります。

1 ：下記件名のメールを受信した場合は、管理画面へアクセスします。
※件名：本人認証チェックの未確認ユーザーのお知らせ
※受信時間：午前 0：30 に送付されます。(受信時間の変更不可)
※未対応である場合は、毎日通知メールが届きます。



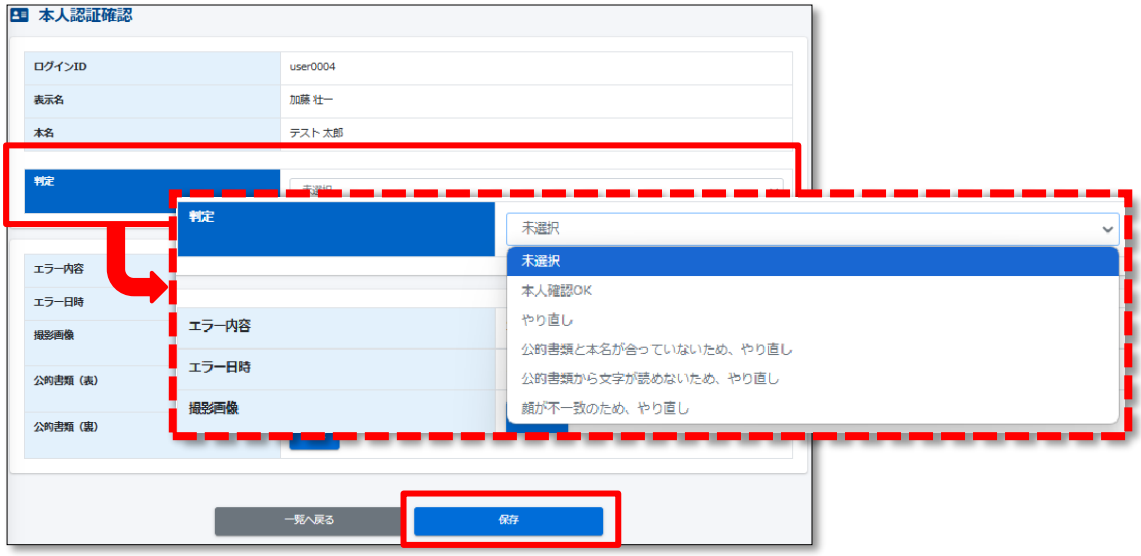
2 ：ログイン画面に切り替わりましたら、ID/PW を入力しログインします。



3：左メニュー「ユーザー管理」>「本人認証確認」を選択、本人認証確認一覧画面で判断が必要なユーザーが表示されるので、「ログイン ID」をクリックします。



4：本人確認画面で内容を確認し、「判定」内容をプルダウンから選択して「保存」をクリックします。
※各項目の説明については以下のとおりです。
※判定しないと、受講者は監視付きコンテンツの受講ができなくなりますのでご注意ください。
※一度、判定すると元に戻せないので、誤操作されないように注意してください。



■項目	■説明
撮影画像	本人登録するときに 撮影した写真が表示されます。 ▶）右画像は受講者側で 登録する時の画像です。 
公的書類(表)	本人登録時に撮影した 公的書類(表)の写真が表示されます。 ▶）右画像は受講者側で登録する時の画像です。 
公的書類(裏)	本人登録時に撮影した公的書類(裏)の写真が 表示されます。 ▶）右画像は受講者側で登録する時の画像です。  ▶）マイナンバーにように、裏面撮影がない 公的書類の場合は、以下のアイコンが 表示されます。 

2.2. AIMONITOR・本人画像登録に関する利用規約

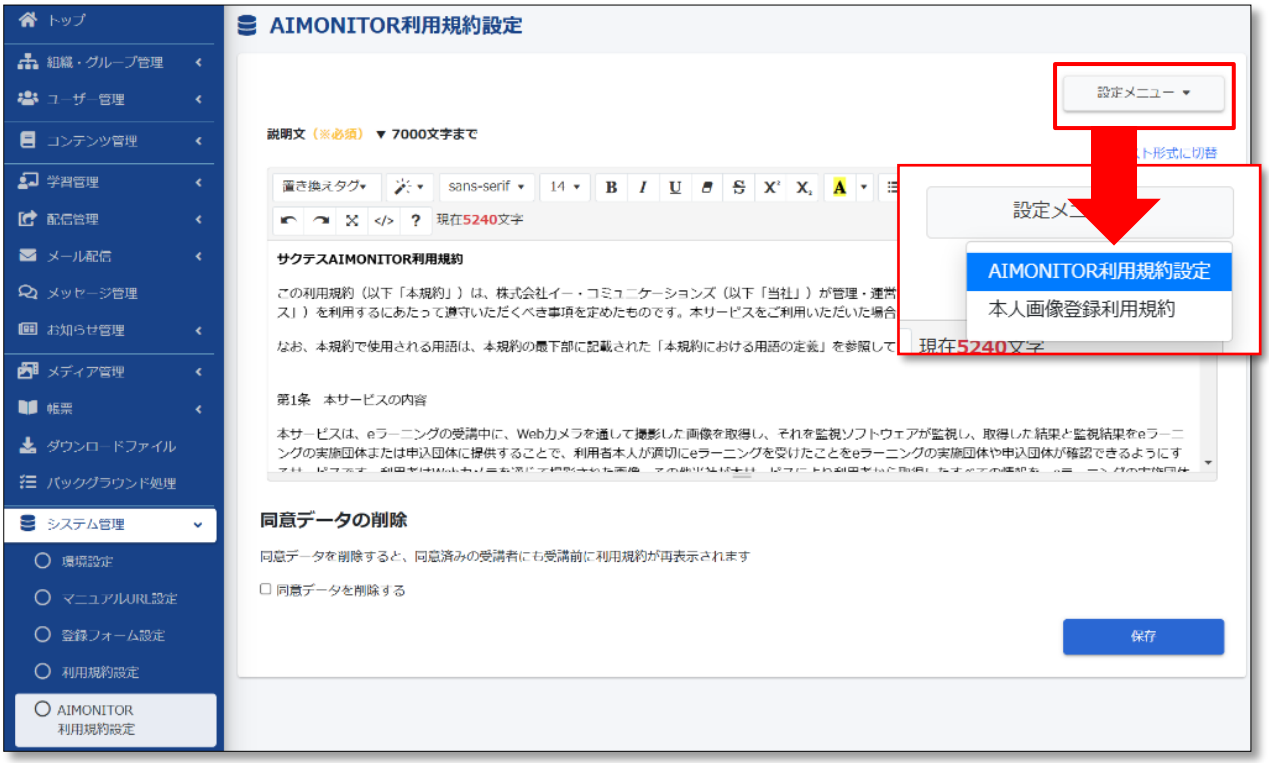
本人登録及び受講時の監視画像を取得することについて、受講者側が同意をする文面になります。
基本、システムの仕様上、画像データ保持について記載がございますが、補足内容などあれば追記することができます。

・AIMONITOR 利用規約：管理者側で、監視結果として確認する画像データの取り扱いについて
・本人画像登録利用規約：受講者は受講実施前に本人登録するときの登録画像データについて

1：管理者サイト左メニュー「システム管理」>「AIMONITOR 利用規約設定」をクリックします。



2：AIMONITOR 利用規約設定画面に切り替わりましたら、文面やフォントの変更ができます。
※画面右の「設定メニュー」をクリックすると「本人画像登録利用規約」の文面編集画面に切り替えることができます



■項目	■説明
AIMONITOR 利用規約設定	受講時に、不正有無確認用の画像(監視画像)を取得する上で同意文になります。同意すると以下画面に切り替わり、受講スタートします。 〈受講画面の見え方〉  (※)「同意データを削除する」：文面修正・編集により、受講者から再度同意を得る必要がある場合は、文面更新後にチェックを入れて「保存」ボタンをクリックしてください。
本人画像登録利用規約	ユーザーへ、本人登録時に取得する画像に関する同意文。 ユーザーは同意をすると、公的書類の登録及び本人確認用の写真撮影画面に進みます。 〈受講画面の見え方〉 

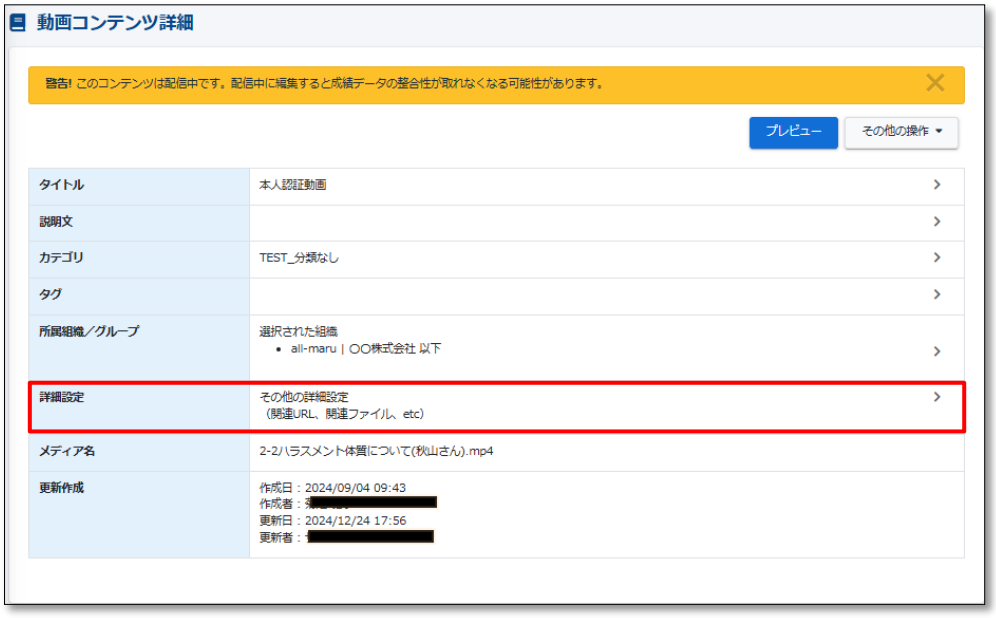
2.3. コンテンツに AIMONITOR 設定をする

AIMONITOR 機能は、各コンテンツ別に設定することができます。
設定できるコンテンツ種類は「ドリル・テスト」「アンケート」「動画」「スライド」になります。
設定は以下のとおりです。
※ここでは、動画コンテンツを利用して案内します。

1 ：左メニュー「コンテンツ管理」>「動画・音声」を選択、動画・音声コンテンツ一覧画面で本人確認設定を付与するコンテンツの「タイトル」をクリックします。



2 ：詳細画面の「詳細設定」をクリックします。



3 ：「AIMONITOR を使用する」にチェックをして、必要に応じて各項目を設定し「保存」をクリックします。

〈設定画面〉



〈各項目の説明〉

① 監視範囲

監視範囲を設定する項目です。デフォルトは「受講 1 回目のみ監視する」で、2 回目以降の受講は監視されません。

② 検知パターン

・本人検知

受講中、本人確認できない場合検知されます。

・複数人の映り込み検知

受講中、複数人が映れば検知されます。

・よそ見検知

受講中、画面より視線が一定範囲を超えた場合「よそ見」として検知されます。

・ブラウザアクティブ検知

受講者サイト以外のアプリケーションを起動し、受講者サイトより前面に表示した場合、不正として検知されます。（同じブラウザの別タブを開いた場合も同様に検知）

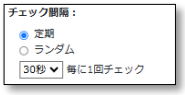
・居眠り検知

受講中居眠りした場合、挙動「居眠り」として検知されます。

③ チェック間隔

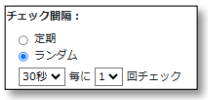
定　期・・・設定した間隔/回に受講者を撮影します。

例：30 秒設定の場合は【30 秒に 1 回ずつ】撮影します。



ランダム・・・設定した時間内にランダム間隔で撮影します。

例：30 秒設定の場合【2 秒、5 秒、7 秒に 1 回】と 30 秒間にランダムで撮影します。

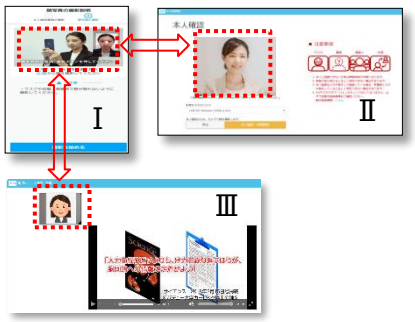


④ 精度

【Ⅰ：本人認証で登録した本人写真】

【Ⅱ：受講開始時の「本人確認」画面及び受講中画面に表示される画像】

【Ⅱ画像】が【Ⅰ画像】にどれだけ一致しているか？の割合を AI が解析するための設定値を設定する項目です。

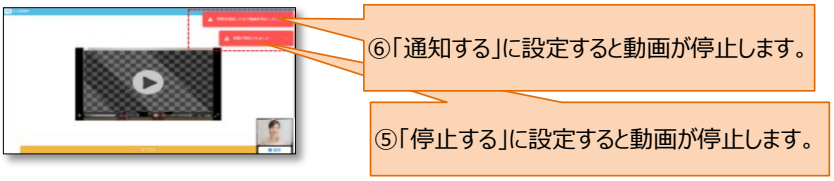


⑤ 挙動検知時の対応(動画)

挙動検知したら、動画を停止する設定。

⑥ 挙動検知時の受講者への通知

挙動検知したら、受講者宛にメッセージを表示する設定。



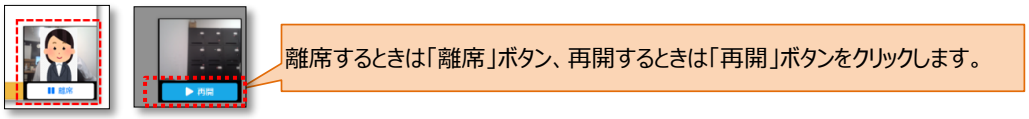
⑦ 挙動検知後の本人確認

挙動検知により動画が停止した場合、本人確認を実施した後に動画を再開できます。

※「挙動検知時の対応（動画）」で「停止する」を選択している場合のみ、本メニューが設定可能です。

⑧ 一時離席

受講中の画面右下の監視画像にボタンが表示されます。一時離席ボタンを押して離席した場合、撮影を中断します。



第3章　受講結果確認及びデータ抽出について

受講実施後、受講中に取得した監視画像をもとに、管理者にてなりすまし及び不正の有無を判定します。判定結果(挙動検知あり・なし)は、実施状況データをダウンロードし確認することができます。

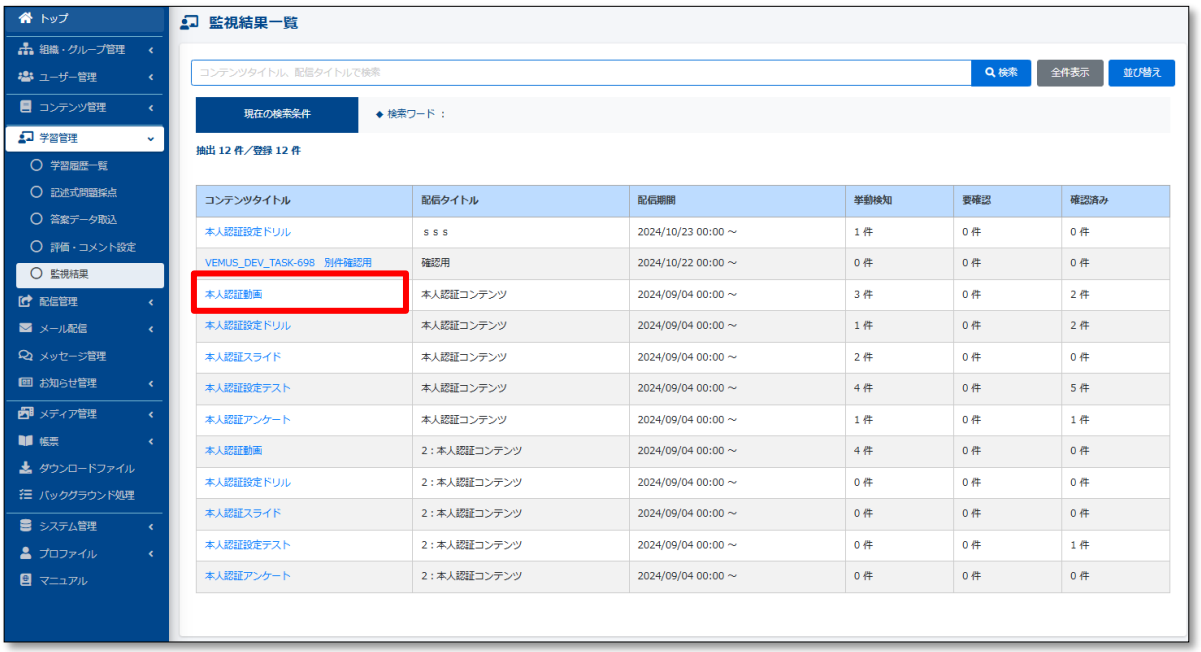
3.1. 受講時のなりすまし及び不正の判定について

受講結果でなりすまし及び不正の有無を確認するため、チェック間隔ごとに取得した監視結果の画像をもとに管理者にてチェックをします。
チェック後、各ユーザーに判定結果をプルダウン選択します。(不正あり、不正なし、未確認、要確認)
判定は複数の管理者にて可能ですが、直近で判定した結果のみ残るしくみになっているので、他管理者の判定結果を履歴として残す場合は、「メモ(1000 文字まで)」に入力し、他管理者に共有することもできます。

1 ：左メニュー「学習結果」>「監視結果」をクリックします。



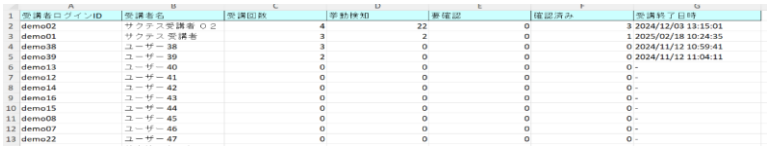
2 ：監視結果一覧画面で、判定する「コンテンツタイトル」をクリックします。



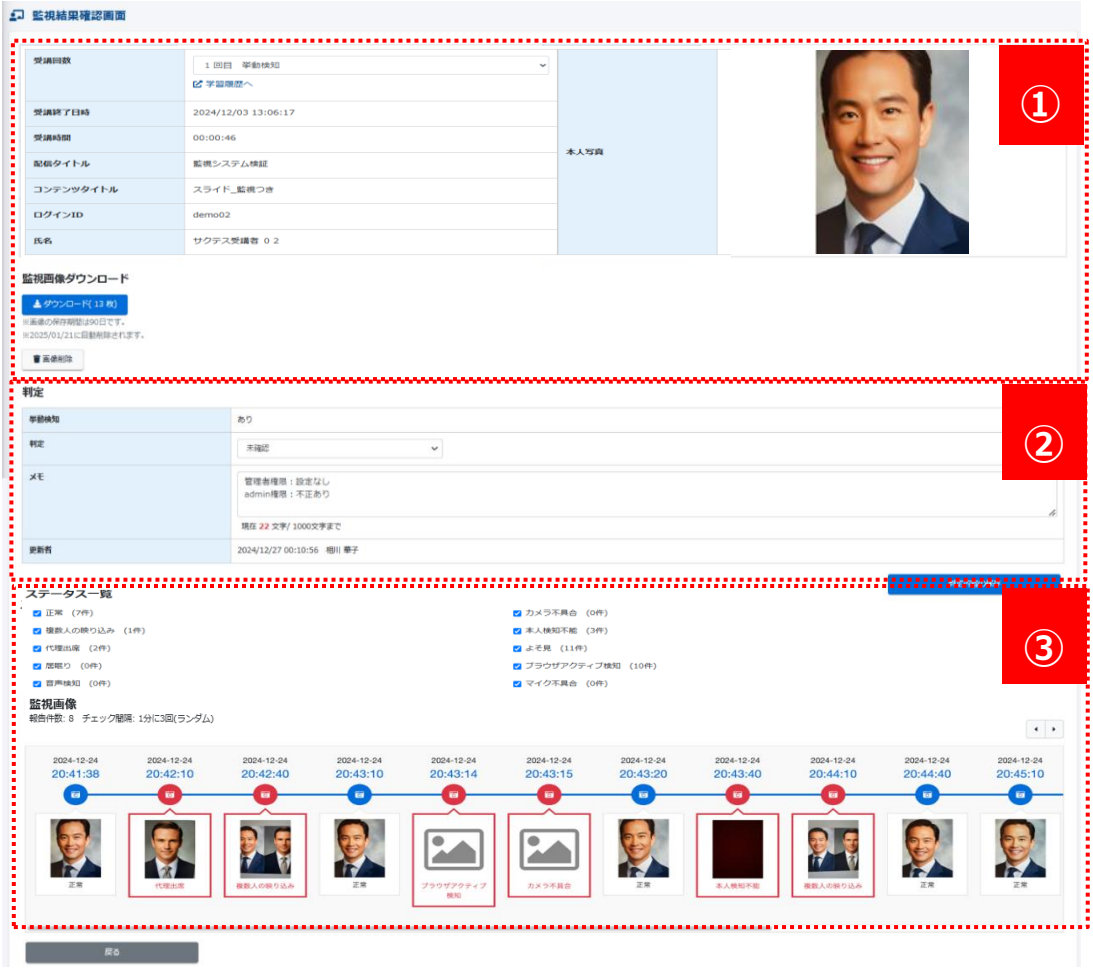
3：監視結果受講者一覧画面より、判定する受講者の「受講者ログイン ID」をクリックします。ユーザー数が多い場合、「詳細検索・並び替え」よりユーザーの検索もできます。



※この画面では右の「監視結果ダウンロード」よりコンテンツの監視結果をダウンロードすることも可能です。
ファイル名：監視結果受講者一覧_(コンテンツ_〇〇)_yyyy-mm-dd_hh-mm-ss.xlsx



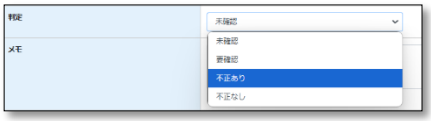
4：監視結果確認画面で、監視画像をもとに判定結果をプルダウン選択します。
※各項目に関する説明は次ページにあります。



▶①：受講者情報と受講状況

■項目	■説明
受講回数	判定する受講実施回数をプルダウン選択し、その時の挙動検知を確認することができます。 「学習履歴へ」をクリックすると、該当受講者の成績画面へ遷移します。
本人写真	本人登録時の画像。コンテンツごとの AIMONITOR 機能設定項目にある「精度」を設定し、受講スタート時に表示される本人確認画面の画像が、どの程度一致するかを比較するための画像にあたります。
受講終了日時	コンテンツ受講を終了した年月日です。 各コンテンツお成績データ(項目：実施修了日時)で抽出できます。
受講時間	コンテンツ実施開始時間～終了までの時間帯。 こちらは、各コンテンツの成績データ (項目：実施時間)で抽出できます。
配信タイトル	コンテンツが設定されている配信名です。
ログイン ID	受講者の「ログイン ID」です。
氏名	受講者の「表示名」が表示されます。
監視画像ダウンロード	③のチェック間隔ごとに取得した画像をダウンロードできます。 有効期限は 90 日(期限変更は不可)です。

▶②：判定

■項目	■説明
挙動検知	なりすまし及び不正を AI が判断した場合は「あり」と表示されます。
判定	AI にて判断された挙動検知だけでなく、管理者に③の監視画像をもとに判定いただく部分になります。 ▼ステータス項目▼ 不正なし、不正あり、要確認(例えば他管理者への確認を要する場合や再度確認を要する場合などの判定項目する)、未確認(誰も確認していない場合) 
メモ	他管理者への共有事項や判定結果についての補足などを入力する、フリースペースです。
更新者	直近で判定した日時＆管理者名が表示されます。

▶③：ステータス一覧と監視画像

■項目	■説明
正常	不正なしと判断されたもの。
複数人の映り込み	本人以外の人と本人が映り込んだと判定されたもの。
代理出席	他人が受講した場合、もしくは AI が本人登録時の本人画像より受講時に取得した監視結果画像の精度が下回り本人不一致と判断された場合はこちらのステータスとしてカウントされる
よそ見検知	受講中、画面より視線が一定範囲を超え、よそ見と検知されたもの。
居眠り検知	受講中、「居眠り」として検知されたもの。
音声検知	受講中、「音声」として検知されたもの。
カメラ不具合	不具合で監視結果が取得できなかったと判断されたもの。 ※一時的不具合で映らなかった場合は、不具合解消したタイミングから設定したチェック間隔で監視画像が取得される。
本人検知不能	代理出席の原因の他、AI で本人と確認ができなかったと判断されたもの。 画面から顔がはみ出してしまった場合は、こちらの結果ステータスで判断されるケースが多い

ブラウザアクティブ検知	受講前に受講者サイトとは別ブラウザタブを開いている、受講画面以外のブラウザ画面上でカーソルをクリックしたなどの挙動があった判断したもの。
マイク不具合	不具合で監視結果画面が取得できなかったと判断されたもの。 ※一時的不具合で音声検知できない場合は、不具合解消したタイミングから音声検知が始まります。

3.2. なりすまし及び不正判定結果のデータダウンロードについて

管理者で判定した結果ステータスは、実施状況データで取得することができます。ここでは、データの抽出方法やステータスの内容について案内します。
配信に複数の監視付きコンテンツが設定されていた場合の実施状況データの「ステータス」は、１つのコンテンツに挙動検知の判定があった場合は「実施済(挙動検知)」となります。

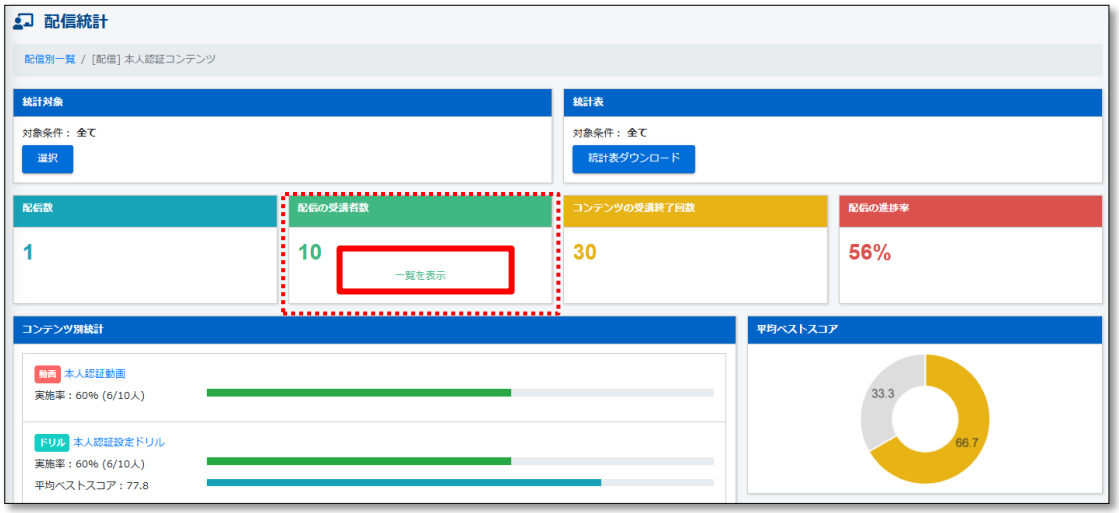
▼学習履歴を抽出する項目
左メニュー「学習管理」＞「学習履歴一覧」をクリックし、学習履歴一覧画面より「配信別」タブを選択、データ抽出対象の「タイトル」をクリックします。



▶配信設定の実施状況データダウンロード方法はこちら
▶配信に設定されたコンテンツごとの実施状況データダウンロード方法はこちら

3.2.1. 配信実施状況のダウンロード方法

１： 配信統計画面の「配信の受講者数」＞「一覧を表示」をクリックします。

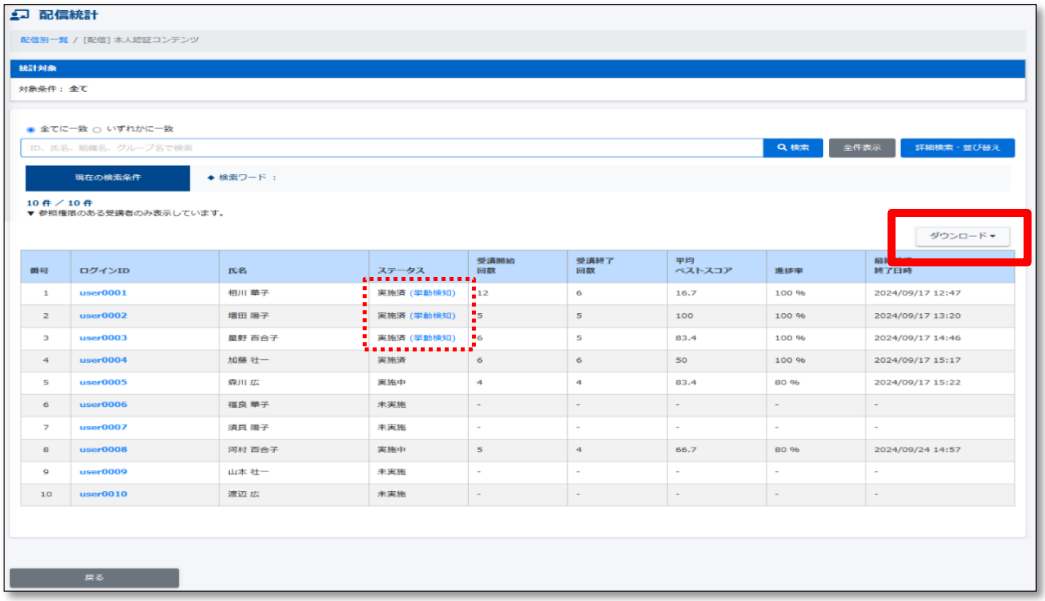


2 ： 配信統計画面右の「ダウンロード」をクリックします。

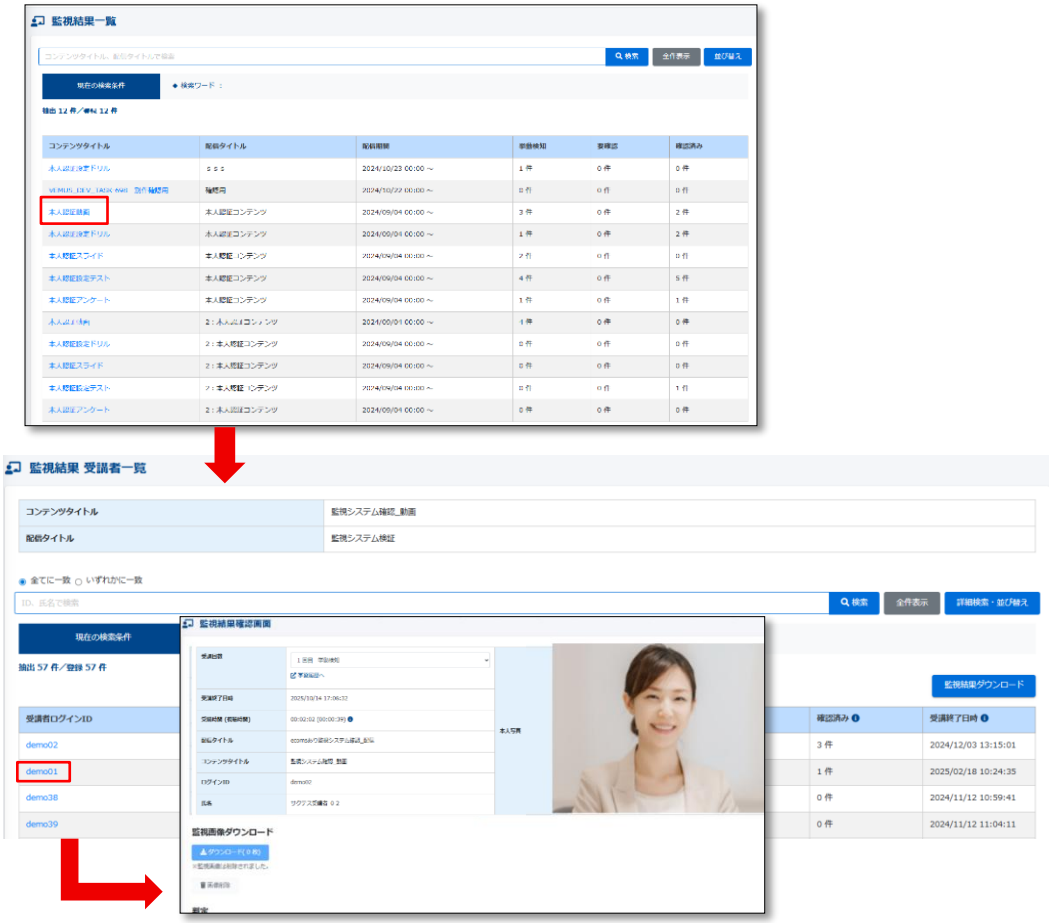
※判定が「不正なし」の場合：実施済

※判定が「要確認」・「不正あり」の場合：実施済(挙動検知)

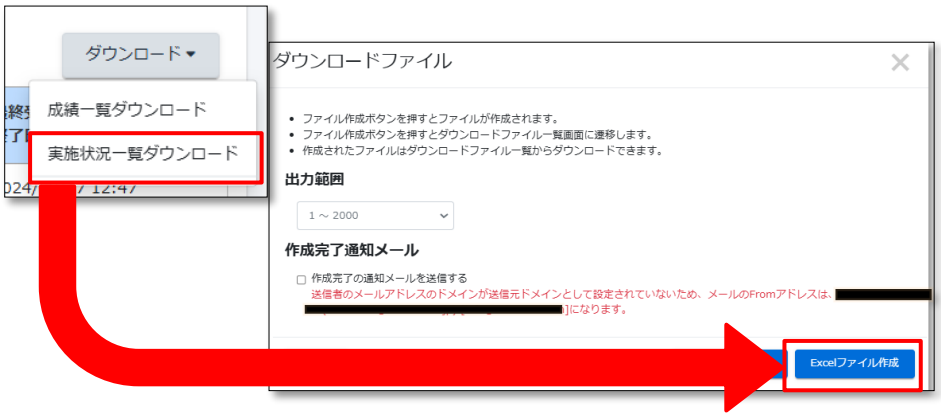
※判定が「未確認」について、監視結果画像がすべて「正常」である場合は「実施済」
挙動検知画像が含まれる場合は「実施済(挙動検知)」のステータスとして残ります。



「実施済(挙動検知)」をクリックすると「監視結果一覧」画面へ遷移し、コンテンツ別の判定結果を確認することができます。「コンテンツタイトル」をクリックすると、管理者が監視結果を判定したときの「監視結果確認画面」に切り替わり、ユーザー別の判定結果が確認できます。



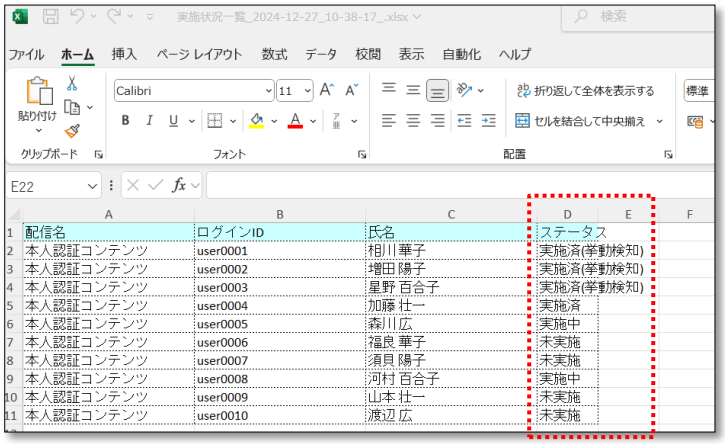
3：「ダウンロード」>「実施状況一覧ダウンロード」をクリックし、ダウンロードファイル画面で「Excel ファイル作成」をクリックします。



4：ダウンロードファイル画面に切り替わりましたら、「再読み込み」をクリックし、ボタン表記が「キャンセル」から「ダウンロード」なったタイミングでクリックして、ファイルをダウンロードしてください。



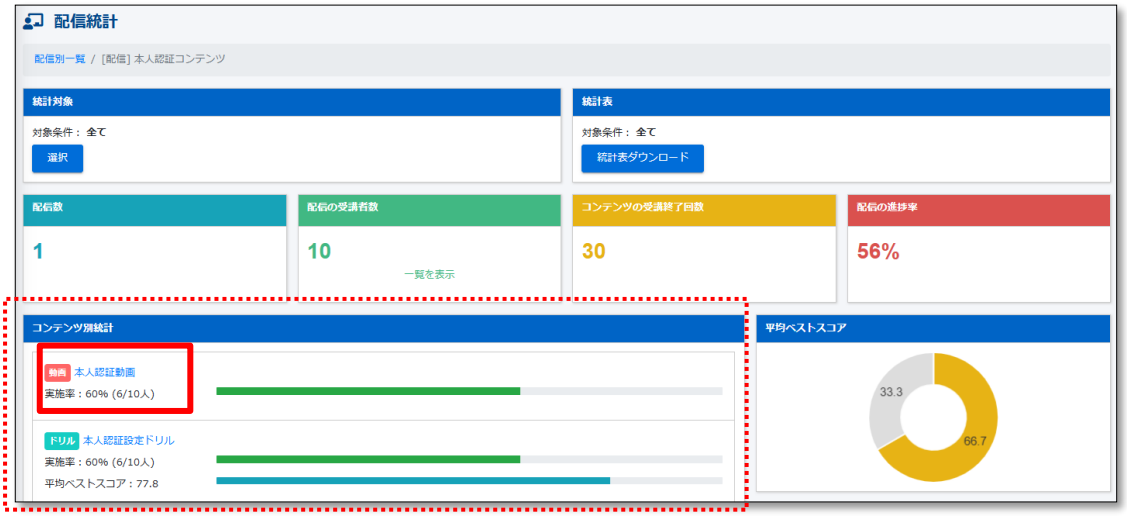
5：実施状況ファイルを開くと、項目「ステータス(D 列)」になりすまし及び不正があった可能性がある(挙動検知)と判断されたユーザーを確認することができます。



	A	B	C	D
1	配信名	ログインID	氏名	ステータス
2	本人認証コンテンツ	user0001	相川 華子	実施済(挙動検知)
3	本人認証コンテンツ	user0002	増田 陽子	実施済(挙動検知)
4	本人認証コンテンツ	user0003	星野 百合子	実施済(挙動検知)
5	本人認証コンテンツ	user0004	加藤 壮一	実施済
6	本人認証コンテンツ	user0005	森川 広	実施中
7	本人認証コンテンツ	user0006	福良 華子	未実施
8	本人認証コンテンツ	user0007	須貝 陽子	未実施
9	本人認証コンテンツ	user0008	河村 百合子	実施中
10	本人認証コンテンツ	user0009	山本 壮一	未実施
11	本人認証コンテンツ	user0010	渡辺 広	未実施

3.2.2. 配信設定したコンテンツの実施状況ダウンロード方法

1 ：配信統計画面の「コンテンツ別統計」よりコンテンツ「タイトル」をクリックします。



2 ：コンテンツ統計画面の「配信の受講者数」>「一覧を表示」をクリックします。

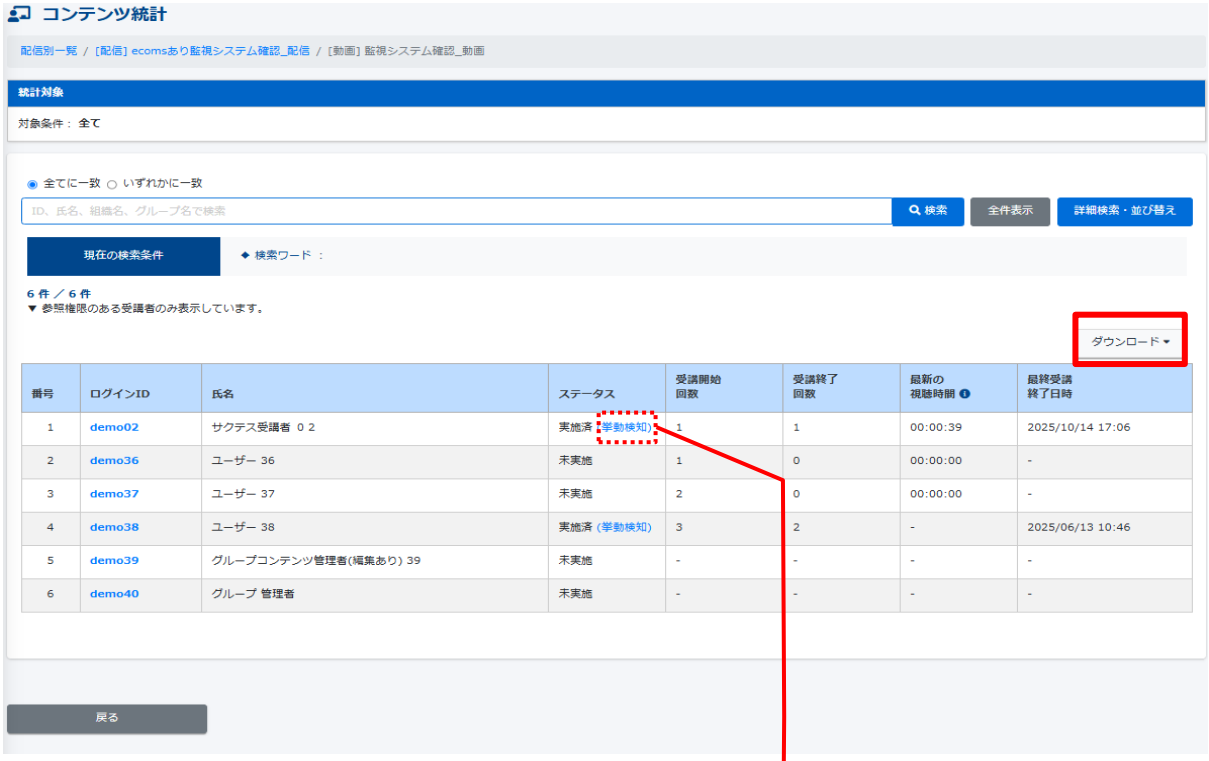


3 ：コンテンツ統計画面の「ダウンロード」をクリックします。

※判定が「不正なし」の場合：実施済

※判定が「要確認」・「不正あり」の場合：実施済(挙動検知)

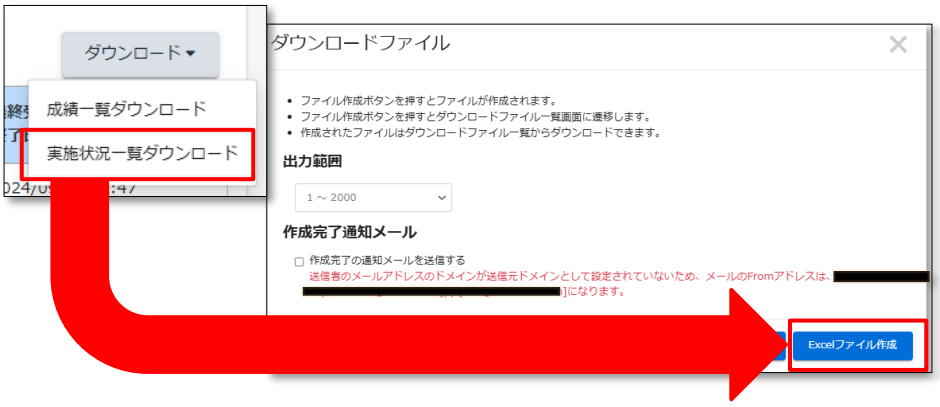
※判定が「未確認」について、監視結果画像がすべて「正常」である場合は「実施済」
挙動検知画像が含まれる場合は「実施済(挙動検知)」のステータスとして残ります。



「不正なし」以外は「実施済(挙動検知)」となります。クリックすると、[ユーザー別]且つ[コンテンツ別]に判定結果を確認でききます。



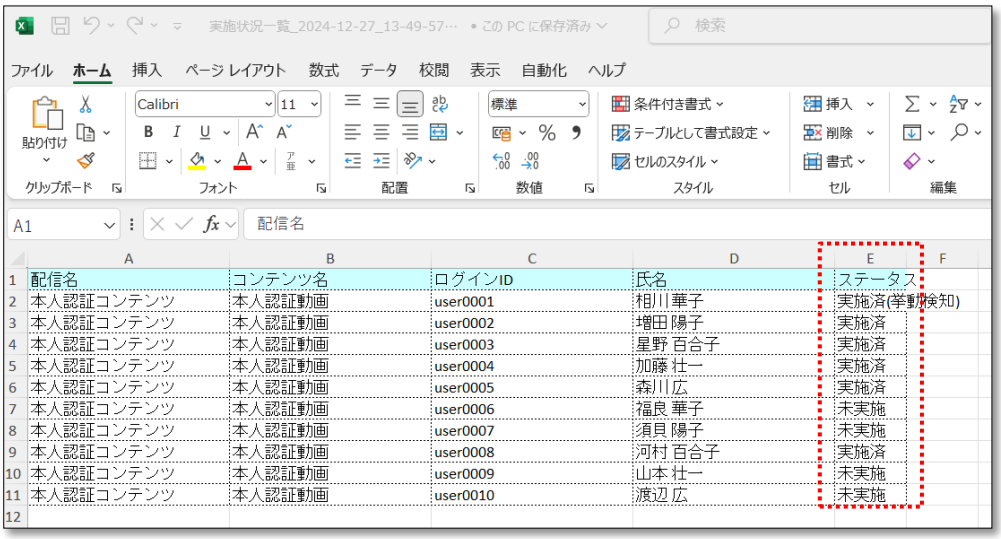
4 :「ダウンロード」>「実施状況一覧ダウンロード」をクリックし、ダウンロードファイル画面で「Excel ファイル作成」をクリックします。



5 : ダウンロードファイル画面に切り替わりましたら、「再読み込み」をクリックし、ボタン表記が「キャンセル」から「ダウンロード」なったタイミングでクリックして、ファイルをダウンロードしてください。



6 : 実施状況ファイルを開くと、項目「ステータス(E 列)」になりすまし及び不正があった可能性がある(挙動検知)と判断されたユーザーを確認することができます。



	A	B	C	D	E	F
1	配信名	コンテンツ名	ログインID	氏名	ステータス	
2	本人認証コンテンツ	本人認証動画	user0001	相川 華子	実施済(挙動検知)	
3	本人認証コンテンツ	本人認証動画	user0002	増田 陽子	実施済	
4	本人認証コンテンツ	本人認証動画	user0003	星野 百合子	実施済	
5	本人認証コンテンツ	本人認証動画	user0004	加藤 壮一	実施済	
6	本人認証コンテンツ	本人認証動画	user0005	森川 広	実施済	
7	本人認証コンテンツ	本人認証動画	user0006	福良 華子	未実施	
8	本人認証コンテンツ	本人認証動画	user0007	須貝 陽子	未実施	
9	本人認証コンテンツ	本人認証動画	user0008	河村 百合子	実施済	
10	本人認証コンテンツ	本人認証動画	user0009	山本 壮一	未実施	
11	本人認証コンテンツ	本人認証動画	user0010	渡辺 広	未実施	
12						